



# 爽 緑

銚子市立明神小学校学校便り  
VOL.15 令和5年11月1日

令和5年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」 ~かしこく やさしく たくましい 明神っ子~  
『学校は子どもにとってワクワク・ドキドキできる場所』

## 銚子市小中学校合同音楽会

10月27日(金)市体育館にて、4年ぶりとなる「銚子市小中学校合同音楽会」が開催されました。本校では9月から4、5、6年生が合同で音楽の授業を行い、合唱練習に励んできました。当日は5、6年生の児童で合唱を披露し、多くの人々の心に響く感動的な発表となりました。

私自身も会場で子供たちの合唱を聴き、鳥肌が立って涙が出そうになりました。今回の音楽会は、市内の各学校で合唱や器楽演奏の優劣を競うものではありません。限られた時間の中で、子供たちが音楽について学んだり、練習したりしたことを発表する場です。どの学校も素晴らしい合唱や演奏を披露していました。そのような中で、明神小の子供たちは体全体でリズムを感じながら、一つ一つの歌詞を大切に、心を込めて歌っていました。中には、指揮者に合わせて身振り手振りでリズムを取りながら、楽しそうに歌っている子供もいました。



一人一人の表情やしぐさから、子供たちの心の豊かさ、心の温かさ、心の成長を感じることができ、とても嬉しい気持ちになりました。

さらに27日(金)の朝、体育館で最終の練習を終えた5、6年生を、1、2年生が温かく見送ってくれたり、音楽会前日の児童集会において、練習を共にした4年生も加わって、素晴らしい歌声を披露したりしました。それぞれの学年でやれることは違っても、学校全体で目標に向かって支え合うことができる、明神小の子供たちの素晴らしさを改めて実感しています。

11月7日(火)には、東総運動場にて「銚子市小学校親善体育大会」が行われます。明神小の児童の活躍を楽しみにしています。

## 魔法の言葉

夏の課題として出された読書感想文の中から、1年生の作品を紹介します。

「それでいい!」は、ぼくのお母さんがよく言う言葉です。僕が自信がなくて下を向いていると、お母さんがいつも「〇〇が一生涯懸命やったんだから、それでいいんだよ。」と言ってくれます。お母さんの言葉と同じ題名のこの本を見つけた時、どんなお話かすごく読みたくなりました。

絵を描くことが大好きなきつねは、立派なニジマスや大きなリンゴの木を描きます。でも、描き終わると「これでいいのかな。」といつも不安になります。ぼくも文や絵を書いたり自分の考えを言ったりするときに、「これでいいのかな。」と思うので、きつねと同じです。そんな時に、やまねこに「だっせえ。」と絵を笑われてしまいます。ぼくは自分が言われたような気持ちになって、悲しくなりました。きつねは、せっかく描いた絵をくしゃくしゃに丸めて放り投げてしまいます。そして、自信をなくして絵が描けなくなってしまいました。その時、たまたま行ったうさぎの家に、丸めて捨てたはずの絵が壁に貼ってありました。うさぎは「きつねちゃんの絵、大好き。」と言ってくれました。きつねは、自分が描いた絵を眺めながら、「ぼくは、描きたいから描いていたんだ。」ということ思い出しました。きつねが知らないところでも、ちゃんと応援してくれているうさぎがいたことが、ぼくにはすごく嬉しかったです。ひょっとしたら、ぼくにも、ぼくが知らないところで、応援してくれる人がいるかも知れません。家族や先生や友達の顔が浮かびました。そして、「描きたいから描く。」というきつねのように、ぼくも自分がやりたいことを「これでいい!」と自分に言いながらやっっていこうと思います。自信がでる魔法の言葉「それでいい!」を大切に心にしました。

◇自分への前向きな言葉は、幸せを呼び込む「魔法の言葉」ですね。